

大阪市の高潮対策について

大阪市港湾局

1. 大阪市の高潮対策

- ・大阪港では、昭和42年に、既往最大規模の台風(伊勢湾台風級)が満潮時に最悪となる大阪湾の西側(室戸台風コース)を通過して来襲することを想定した「大阪港高潮対策恒久計画」を策定
- ・本計画に基づき、防潮堤の天端高を確保するとともに、台風の接近に伴い、事前に8基の水門と353基の防潮扉を閉鎖することで、高潮による浸水被害を防ぐ

■ 防潮堤の計画天端高

防潮堤計画天端高 = 台風期の朔望平均満潮位 (O.P.+2.2m)
+ 高潮時偏差 (3.0m)
+ 各地区の港内波高等 (0.5~2.0m)
= O.P.+5.7~7.2m



防潮堤(港区埠頭地区)



水門(三十間堀川水門)



防潮扉(港区埠頭26)

港湾局所管の防潮施設

防潮堤	59.8km
水門	8基
防潮扉	353基



2. 大阪市の高潮対策（台風21号来襲時の対応）

今回の台風21号では、大阪港の最大潮位がOP+4.59mであったが、「大阪港高潮対策恒久計画」の想定潮位であるOP+5.2mを下回っていたこと、さらに、水防団及び地元企業の協力を得て、港湾局において、適切に防潮扉の閉鎖を行ったことにより、防潮堤より陸側では、高潮による浸水被害はなかったものと考えられる。

■ 台風第21号時の防潮扉・水門の閉鎖指令

9月3日 午後03時00分 第2号指令発令
145基(防潮扉137基・水門8基)の閉鎖指令
(敷居高O.P+4.0m以下の防潮扉及び全ての水門)

9月4日 午前06時30分 高潮警報発表
午前06時40分 第1号指令発令
361基(防潮扉353基・水門8基)の閉鎖指令
(全ての防潮扉及び水門)

(9月4日 午前12時頃徳島県南部、午後2時頃神戸市付近に上陸)